

# 副産物情勢

平成29年10月4日 更新

JA全農ミートフーズ株式会社

項目	内容	備考																									
1.内臓	①国産牛	<p>○平成29年8月成牛と畜頭数は、82.6千頭(前年比99.4%)となり、わずかに前年を下回った。 内訳を見ると、和牛33.0千頭(前年比 98.6%)、交雑牛18.9千頭(同 106.5%)、乳牛去勢15.8千頭(同 96.0%)であった。 ○平成29年9月の成牛と畜頭数は、速報値(9/29まで集計)で82.3千頭(前年比95.6%)と減少している。 ○(独)農畜産業振興機構が9月25日に公表した牛肉の需給予測によると、10月は1日当たりの出荷頭数は前年をわずかに下回るものの、と畜場稼働日数が前年を上回ると見込まれることから、出荷頭数は前年をわずかに、生産量は前年をやや、いずれも上回ると予測している。 品種別の出荷予測について、和牛は、飼養頭数が回復傾向にあることも影響し10月は前年をやや上回ると見込む。交雑種は酪農家における乳用後継牛への黒毛和種交配率の上昇により増加が見込まれる一方で、乳用種は減少が継続すると見込んでいる。 ○需要動向については、全体的によく動いている。赤モノは依然不足気味であるが、需要期の終わりつつあるレバーの動きが徐々に鈍ってきた。シロモノは小腸の引き合い強くなってきた。シマチョウも活発ではないが引き合いあり。 ミノは輸入モノの値上がりにより国産品の需要が増えてきている。</p>	<p>1.東京市場内臓価格 単位:円/枝肉kg</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>価格改定年月日</th> <th>牛内臓</th> <th>豚内臓</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成23年5月26日</td> <td>34/枝kg</td> <td>8/枝kg</td> </tr> <tr> <td>平成24年7月6日</td> <td>30/枝kg</td> <td>8/枝kg</td> </tr> <tr> <td>平成24年11月19日</td> <td>30/枝kg</td> <td>7/枝kg</td> </tr> <tr> <td>平成26年6月9日</td> <td>30/枝kg</td> <td>9/枝kg</td> </tr> <tr> <td>平成26年11月10日</td> <td>35/枝kg</td> <td>9/枝kg</td> </tr> <tr> <td><b>平成28年6月6日</b></td> <td><b>40/枝kg</b></td> <td><b>9/枝kg</b></td> </tr> </tbody> </table> <p>*豚正貫物</p>	価格改定年月日	牛内臓	豚内臓	平成23年5月26日	34/枝kg	8/枝kg	平成24年7月6日	30/枝kg	8/枝kg	平成24年11月19日	30/枝kg	7/枝kg	平成26年6月9日	30/枝kg	9/枝kg	平成26年11月10日	35/枝kg	9/枝kg	<b>平成28年6月6日</b>	<b>40/枝kg</b>	<b>9/枝kg</b>			
	価格改定年月日	牛内臓	豚内臓																								
	平成23年5月26日	34/枝kg	8/枝kg																								
平成24年7月6日	30/枝kg	8/枝kg																									
平成24年11月19日	30/枝kg	7/枝kg																									
平成26年6月9日	30/枝kg	9/枝kg																									
平成26年11月10日	35/枝kg	9/枝kg																									
<b>平成28年6月6日</b>	<b>40/枝kg</b>	<b>9/枝kg</b>																									
②国産豚	<p>○平成29年8月度全国の肉豚出荷頭数は1,311千頭(農林水産統計9/28公表 前年比98.7%)となった。農水省6月26日発表の8月出荷予測では、1,332千頭(前年比100%)と予測されていたとおり、前年を下回る結果となった。 ○平成29年9月の全国と畜頭数は、速報値で1,281千頭(9/30まで集計)、前年同比96.9%となっている。稼働日数では昨年と同じ20日となり、1日当たりの平均と畜頭数は速報値段階で64,030頭となっている。 ○農水省食肉鶏卵課平成29年9月27日付 肉豚生産出荷予測によると、今後の出荷予測頭数は平成29年10月1,441千頭(同105%)11月1,483千頭(同101%)、12月1,515千頭(102%)、1月1,420千頭(102%)、2月1,310千頭(100%)、2月1,412千頭(98%)となっている。 ○需要動向について、アカモノの全体的に動きよい。レバーの動きもよくなってきた。 シロモノも全体的に動きよい。需要期に向けて小腸・大腸・直腸引き合い強い。ガツもコンビニ・量販手需要で動き良い。</p>	<p>2.大阪市場内臓価格 単位:円/枝肉kg</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>価格改定年月日</th> <th>牛内臓</th> <th>豚内臓</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成20年3月10日</td> <td>50/枝kg</td> <td>3/枝kg</td> </tr> <tr> <td>平成20年5月1日</td> <td>50/枝kg</td> <td>5/枝kg</td> </tr> <tr> <td>平成23年6月20日</td> <td>40/枝kg</td> <td>5/枝kg</td> </tr> <tr> <td>平成24年7月13日</td> <td>30/枝kg</td> <td>5/枝kg</td> </tr> <tr> <td>平成26年11月10日</td> <td>35/枝kg</td> <td>5/枝kg</td> </tr> <tr> <td><b>平成28年5月30日</b></td> <td><b>40/枝kg</b></td> <td><b>5/枝kg</b></td> </tr> </tbody> </table> <p>*H23.4.1から枝重500kg以上が510kg未満に改定</p>	価格改定年月日	牛内臓	豚内臓	平成20年3月10日	50/枝kg	3/枝kg	平成20年5月1日	50/枝kg	5/枝kg	平成23年6月20日	40/枝kg	5/枝kg	平成24年7月13日	30/枝kg	5/枝kg	平成26年11月10日	35/枝kg	5/枝kg	<b>平成28年5月30日</b>	<b>40/枝kg</b>	<b>5/枝kg</b>				
価格改定年月日	牛内臓	豚内臓																									
平成20年3月10日	50/枝kg	3/枝kg																									
平成20年5月1日	50/枝kg	5/枝kg																									
平成23年6月20日	40/枝kg	5/枝kg																									
平成24年7月13日	30/枝kg	5/枝kg																									
平成26年11月10日	35/枝kg	5/枝kg																									
<b>平成28年5月30日</b>	<b>40/枝kg</b>	<b>5/枝kg</b>																									
③輸入牛	<p>○平成29年8月の輸入通関実績によると牛肉輸入量は全体で46.9千ト(前年比121.1%、前月比83.0%)であった。 内訳は、チルドが25.5千ト(前年比130.1%、前月比115.6%)、フローズンは21.4千ト(同 111.8%、同 62.1%)であった。 チルドビーフについては、豪州産が10.8千ト(前年比 108.9%)、米国産は大幅に増加し13.7千ト(同 154.4%)であった。 ○(独)農畜産業振興機構が9月25日に公表した牛肉の需給予測によると、今後のチルドビーフ輸入量について、主に出荷頭数の増加により米国産の輸入量の増加が見込まれることから、8月から10月にかけて月間2万3千ト前後で推移すると予測する。 ○平成29年8月の冷凍輸入牛レバーは75.5ト(前年比107.5%・前月比58.4%)であった。国別では米国35.3t、豪州29.9tであった。 冷凍輸入牛腸は1,286.5ト(前年比102.4%・前月比101.6%)であった。</p>	<p>3.東京市場原皮価格 *交雑牛含む 単位:円/枚</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>価格改定年月日</th> <th>牛原皮(和牛)</th> <th>豚原皮</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成23年7月1日</td> <td>1,000/枚</td> <td>110/枚</td> </tr> <tr> <td>平成25年2月1日</td> <td>1,000/枚</td> <td>140/枚</td> </tr> <tr> <td>平成25年6月3日</td> <td>1,000/枚</td> <td>160/枚</td> </tr> <tr> <td>平成26年1月6日</td> <td>2,000/枚</td> <td>200/枚</td> </tr> <tr> <td>平成27年4月1日</td> <td>2,000/枚</td> <td>170/枚</td> </tr> <tr> <td>平成28年4月1日</td> <td>2,000/枚</td> <td>150/枚</td> </tr> <tr> <td>平成29年1月23日/16日</td> <td><b>1,500/枚</b></td> <td><b>180/枚</b></td> </tr> </tbody> </table>	価格改定年月日	牛原皮(和牛)	豚原皮	平成23年7月1日	1,000/枚	110/枚	平成25年2月1日	1,000/枚	140/枚	平成25年6月3日	1,000/枚	160/枚	平成26年1月6日	2,000/枚	200/枚	平成27年4月1日	2,000/枚	170/枚	平成28年4月1日	2,000/枚	150/枚	平成29年1月23日/16日	<b>1,500/枚</b>	<b>180/枚</b>	
価格改定年月日	牛原皮(和牛)	豚原皮																									
平成23年7月1日	1,000/枚	110/枚																									
平成25年2月1日	1,000/枚	140/枚																									
平成25年6月3日	1,000/枚	160/枚																									
平成26年1月6日	2,000/枚	200/枚																									
平成27年4月1日	2,000/枚	170/枚																									
平成28年4月1日	2,000/枚	150/枚																									
平成29年1月23日/16日	<b>1,500/枚</b>	<b>180/枚</b>																									
2.原皮	①牛原皮	<p>○平成29年8月の輸出実績は、25,050枚(前年比146.2%、前月比91.0%)で、前年を上回った。輸出平均価格は5,005円/枚(前年比-101円、前月比+91円)と前年より減少となった。国別実績は、韓国9,790枚(前年比202.9%)、タイ11,110枚(同105.7%)、香港3,550枚(同591.7%)、台湾600枚(同50%)、ベトナム・インドは実績なし。一方、ウェットブルーの輸入は、75.2千枚(前年比125.7%、前月比139.2%)、牛大判皮は47.3千枚(前年比113.7%、前月比105.3%)となった。 ○輸出動向は数量について、回復傾向にあったが伸び悩んでいる。 ○米国の牛生産頭数が増加し、それに合わせ原皮枚数も増加している。牛原皮の国際価格を押し下げている要因となっている。</p>	<p>4.大阪市場原皮価格 単位:円/枚</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>価格改定年月日</th> <th>牛原皮(和ヌキ)</th> <th>豚原皮</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成23年2月21日</td> <td>1,300円/枚</td> <td>30/枚</td> </tr> <tr> <td>平成23年7月11日</td> <td>1,300円/枚</td> <td>70/枚</td> </tr> <tr> <td>平成25年2月8日</td> <td>1,300円/枚</td> <td>100/枚</td> </tr> <tr> <td>平成25年6月10日</td> <td>1,300円/枚</td> <td>120/枚</td> </tr> <tr> <td>平成26年1月6日</td> <td>2,300円/枚</td> <td>160/枚</td> </tr> <tr> <td>平成27年4月13日</td> <td>2,300円/枚</td> <td>130/枚</td> </tr> <tr> <td>平成29年1月23日/16日</td> <td><b>1,800/枚</b></td> <td><b>140/枚</b></td> </tr> </tbody> </table>	価格改定年月日	牛原皮(和ヌキ)	豚原皮	平成23年2月21日	1,300円/枚	30/枚	平成23年7月11日	1,300円/枚	70/枚	平成25年2月8日	1,300円/枚	100/枚	平成25年6月10日	1,300円/枚	120/枚	平成26年1月6日	2,300円/枚	160/枚	平成27年4月13日	2,300円/枚	130/枚	平成29年1月23日/16日	<b>1,800/枚</b>	<b>140/枚</b>
	価格改定年月日	牛原皮(和ヌキ)	豚原皮																								
平成23年2月21日	1,300円/枚	30/枚																									
平成23年7月11日	1,300円/枚	70/枚																									
平成25年2月8日	1,300円/枚	100/枚																									
平成25年6月10日	1,300円/枚	120/枚																									
平成26年1月6日	2,300円/枚	160/枚																									
平成27年4月13日	2,300円/枚	130/枚																									
平成29年1月23日/16日	<b>1,800/枚</b>	<b>140/枚</b>																									
②豚原皮	<p>○平成29年8月の輸出合計は、989,582枚(前年比108.9%、前月比90.4%)と、前年を上回った。輸出価格は802円/枚で前年比+59円、前月比-12円であった。国別実績は、台湾153千枚(前年比63.3%)、タイ762千枚(同127.9%)、韓国43千枚(同109.5%)、ベトナム30千枚(同170.3%)、フィリピン2.0千枚(同57.1%)、香港実績なしであった。 ○輸出動向については、現時点においても輸出量の好調さは継続中で、ヌバック等の需要がその要因と言われている。 しかし、海外タンナーに在庫が増加しているとも言われている。 ○先月開催のあった上海レザーショー盛況であった模様。</p>																										
3.レンジ	①油脂等	<p>○8月渡しの国内産食用加工油脂向け豚脂価格は前月同価格だが、前年より5円の83円(前年比94.3%)となった。牛脂は前月・前年とも同価格の93円(同100.0%)。豚脂は6月より5円の値下げになったが、牛脂27ヶ月の長期保合。 ○8月マレーシア産パーム油相場は、生産増加と在庫量が事前予測を上回ったが、今後生産回復が鈍化するとの予測から92円と反転上げとなった。(前月比102.2%、前年比101.1%)。 ○8月の関東飼料用油脂は74円/kgと前月と同様で、前年比-1円となった。工業用油脂は前月と同様の47円/kgの前年比5円安。 ○8月のUCオイル(ローリー)飼料用の関東標準価格は、前月と同様の63円~66円/kg辺り。前年比3円安。</p>	<p>5.油脂価格(食用向け) 単位:円/kg</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>価格改定年月日</th> <th>牛脂</th> <th>豚脂</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成27年7月1日</td> <td>91</td> <td>93</td> </tr> <tr> <td>平成27年8月1日</td> <td>93</td> <td>93</td> </tr> <tr> <td>平成28年6月1日</td> <td>93</td> <td>88</td> </tr> <tr> <td><b>平成29年6月1日</b></td> <td><b>93</b></td> <td><b>83</b></td> </tr> </tbody> </table>	価格改定年月日	牛脂	豚脂	平成27年7月1日	91	93	平成27年8月1日	93	93	平成28年6月1日	93	88	<b>平成29年6月1日</b>	<b>93</b>	<b>83</b>									
価格改定年月日	牛脂	豚脂																									
平成27年7月1日	91	93																									
平成27年8月1日	93	93																									
平成28年6月1日	93	88																									
<b>平成29年6月1日</b>	<b>93</b>	<b>83</b>																									